

総合計画審議会 ご意見に対する対応一覧(総合戦略) 資料6

No.	ご意見	対応
1	審議会委員 若者を増やす施策であれば、若者を対象にした調査が必要なのではないか。	11月に、20代、30代を対象にした若者意識調査を実施しました。結果がまとめ次第、委員の皆さんにお知らせします。
2	審議会委員 SDGsについて計画に入れる考えはないか。	市の施策とSDGsの関係が一目でわかるように、17ゴールのマークを表示する予定です。
3	審議会委員 Society5. 0の横断的な取り組みとは何か。	どの基本目標にも共通の視点をもって取り組みたい目標という意味で、「横断」としています。
4	審議会委員 「成長が期待される産業の振興支援や創業支援による雇用の確保」に係る指標が「製造品出荷額」となっているが、「製造品出荷額等」がよいと思う。	ご指摘のとおり「製造品出荷額等」に修正します。
5	審議会委員 基本目標の説明に置いて「～まちを目指します」となっており、基本目標1及び3においては「～まちづくり」となっている。説明を活かすとすれば基本目標2及び4も「～まちづくり」とした方がよいと思う。もし、基本目標を活かすのであれば説明内容を変更した方がよいと思う。	説明内容を変更します。
6	審議会委員 「Society5. 0」は、注釈による説明書きを付けたほうがよいと思う。	ご指摘のとおり注釈を加えます。
7	審議会委員 KPIについて 人口動態の背景から基本指標の達成は極めて困難と思われる。しかし、KPIの数値だけ(達成した・しない)で、取り組み具合をジャッジされることは危険とも考える。そもそもチャレンジングな指数、達成可能な指数と様々な観点(難易度)で設定されてきたかと思うので、結果だけが独り歩きするのは誤解を招く恐れがある。 要は、每期・毎年の検証→再実行がいかに徹底されてきたのかが重要であって、結果はあくまで次の検討材料に過ぎないものとする。 したがって、第2期の策定にあたっては、当然にKPIは再度設定されると思うが、結果だけが独り歩きしないよう、期中の中間チェックする態勢構築がより求められるような気がする。KPIの設定にあたって、どのタイミングでどのような根拠で確定するのかをきちんと明示することが必要と考える。	第1期においても外部の有識者会議を設置して検証を行っておりましたので、第2期においても同様に進める予定です。体制については、「V. 検証体制」に明記します。

8	審議会委員	<p>共通目標が「Society5.0の実現に向けた技術の進展は人口減少や少子高齢化の課題にも対処することや・・・」とある。 国や県の意向を勘案して再編したということだが、骨子案で出された内容は前期計画とほぼ変わらないので、Society5.0との関連性や横断的なイメージが伝わってこない内容だと思う。</p> <p>一般市民からすると、人口減少とSociety5.0がどう繋がるのかのイメージできなかつたが、例えば、基本目標3について考えると、結婚・出産しても仕事と子育ての両立できるための環境整備をしていくことが重要であると考えます。 保育サービスの充実や経済的支援、育児休業支援のほか、多様な働き方の推進なども考えられ、テレワークの導入などがあると思うし、これからは見据えた新しい施策を盛り込んでいくことが必要かと思う。</p>	<p>・具体的な事業は今後検討し、実施の方向が決まれば改訂する際、「(具体的な取り組み)」に掲載していきます。</p>
9	審議会委員	<p>基本目標3について 「子どもが欲しいと考える市民を後押しする」ことは「結婚や出産、子育てに関する希望が叶う」のか？ この表現には違和感を感じる。 子どもが欲しいというより、まずは結婚したい！が先だと思う。そして、子どもが欲しいと考えている市民の中には、子どもが欲しくてもできない人もいますので、その表現だとすると、そういう支援(不妊治療)も必要になってくると思う。</p>	<p>・表現を次のように整理し直します。</p> <p>【修正前】 結婚・出産・子育てに関する希望や理想の実現を支援するとともに、子どもがほしいと考える市民を後押しすることで、市民の結婚や出産、子育てに関する希望がかなうまちを目指します。</p> <p>【修正後】 若い世代が将来に不安なく結婚し、希望する時期に安心して出産や子育てができる環境をつくり、市民の結婚や出産、子育てに関する希望がかなうまちを目指します。</p>